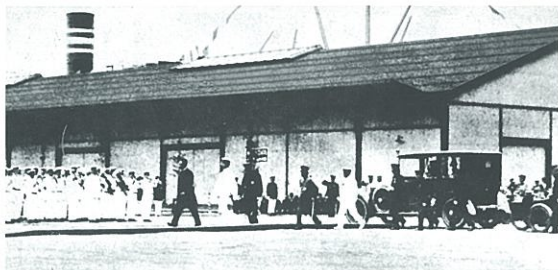


—天皇陛下行幸と観艦式—



天皇陛下神戸税関臨幸 (昭.4.6.7)

産業、貿易等巡覧のため海路ご到着、県庁を経て当関を視察された。篠崎税関長の先導で御召艦に向われる陛下。(第3突堤)



神戸税関本庁舎のイルミネーション (昭.11観艦式)

10月25日から30日まで点灯された。

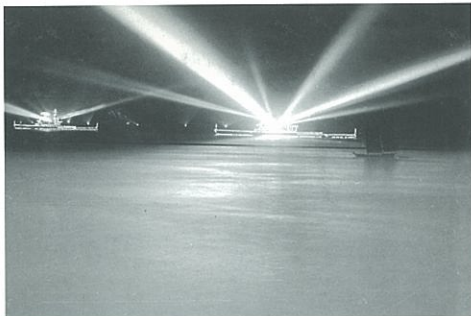


天皇陛下行幸記念碑 (神戸税関本庁舎東側 昭.4.11.27竣工)



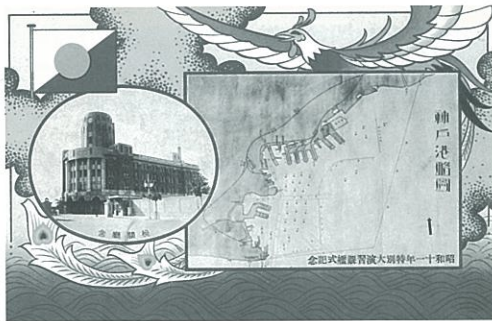
天皇陛下を迎える人々 (昭.4.7)

神戸税関においては、税関長が神戸港一般についてご説明の後、神戸港全景模型、税関古文書、貿易品見本をご覧になった。



戦艦艦名及び霧島のイルミネーションとサーチライトの照射 (昭.11観艦式)

昭和11年10月29日、海軍特別大演習参加艦艇による観艦式が連合艦隊司令長官 高橋三吉 海軍大將を指揮官として阪神沖で実施され、天皇陛下が親閲された。海軍創建以来第17回、神戸港では第6回目の観艦式で連合艦隊旗艦 戦艦長門以下108隻の艦艇と224機の航空機が参加し、観艦式の陪観者は8,400名の多数にのぼった。

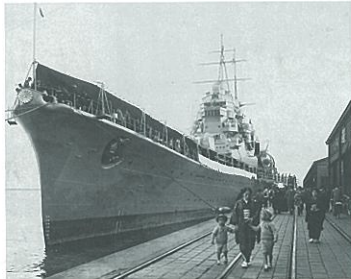


観艦式記念絵はがき



観艦式陪観者を輸送する税関監視艇「おがたま丸」

元尾税関長及び河北港務部長は新町艦比叡、谷岡監視部長は先導艦島海。その他の税関の高等官（6名）は供奉艦足柄、棲名の両艦でそれぞれ陪観した。



参加艦艇の一般公開

観艦式に先立ち、10月26日～28日の間、戦艦陸奥他9隻が一般公開された。写真は第3突堤における一等巡洋艦島海。観艦式当日は先導艦を努めた。



軍人による講演会 (昭.13.2.15第4突堤Q上屋)

谷 中部防衛司令官による実戦談。当時税関ではこのような講演会も開催された。